



Title	名誉教授山田欽一略歴
Author(s)	
Citation	一橋論叢, 65(3): 432-432
Issue Date	1971-03-01
Type	Departmental Bulletin Paper
Text Version	publisher
URL	http://doi.org/10.15057/2272
Right	

名誉教授山田欽一略歴

明治	39年	9月	25日	山田為三、ラクの長男として東京市日本橋区南茅場町で生れる。
大正	2年	4月		大阪市北区西天満尋常小学校に入学する。
大正	3年	9月		東京市麴町区永田町尋常小学校に転校する。
大正	5年	8月		大阪府西成郡天王寺村尋常高等小学校尋常科に転校し、同8年3月同科を卒業する。
大正	8年	4月		大阪府立今宮中学校に入学する。
大正	10年	4月		東京府立第四中学校に転校し、同13年3月卒業する。
大正	13年	4月		東京商科大学予科に入学する。
昭和	2年	3月		東京商科大学予科を卒業する。
		4月		東京商科大学本科に進学し、渡辺孫一郎先生の指導を受ける。
昭和	5年	3月		東京商科大学学士試験に合格する。卒業論文は「屬性理論と論理代数学」。
		4月		東京文理科大学数学科に入学し、杉村欣次郎先生の指導を受ける。
昭和	8年	3月		東京文理科大学学士試験に合格する。卒業報告は「ブール代数での素元分解について」。
		4月		東京商科大学予科講師を嘱託される。
昭和	11年	11月		東京商科大学予科教授に任ぜられる。
昭和	24年	5月		東京経済大学講師を嘱託される(41年3月まで)。
		6月		一橋大学教授(経済学部)に補せられる。
昭和	28年	4月		一橋大学大学院経済学研究科担当を命ぜられる。
				東京薬科大学講師を嘱託される(43年3月まで)。
昭和	31年	9月		一橋大学東京商科大学教授に併任される(37年3月まで)。
昭和	33年	1月		文部省在外研究員として、屬性理論の基礎研究のため、イギリスへ出張を命ぜられる(34年1月帰国)。
昭和	36年	9月		青山学院大学講師を嘱託される(45年3月まで)。
昭和	39年	7月		一橋大学付属図書館小平分館長を命ぜられる(43年6月まで)。
昭和	41年	10月		国際商科大学講師を嘱託され、現在に及ぶ。
昭和	43年	4月		早稲田大学大学院経済学研究科講師を嘱託され、現在に及ぶ。
昭和	45年	3月		停年により一橋大学教授を退職する。
		4月		一橋大学名誉教授の称号を授けられる。